

支え合うきよせ委員会（清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体）

第3回 A部会高齢者110番検討チーム 記録

日時	平成30年1月21日（月）10時～11時半	場所	きよせボランティア・市民活動センター
出席者	委員：田中委員、田島委員、名古屋委員 事務局：上垣係長、鈴木（直） 生活支援CO：原田、鍵和田		
欠席者	鈴木（智）、森		

1 前回の振り返り

鍵和田より、11月20日に開催したA部会の振り返りを行い、2月18日の本会に向けて高齢者110番チームの意向とA部会の意向をまとめていきたい旨を共有する。

2 地域包括支援センターへのわかりやすい名称の活用に関する提案

生活支援COが作成した資料を提示。それをもとに議論を行う。

➤ タイトルに「提案」とあるが、それ以上のことをチームとしては期待している。文言については生活支援COに調整してもらいたい。

➤ 「キャッチコピー」という表現は「キャッチフレーズ」が該当か。

⇒生活支援COが細部の文言を修正。内田部会長をはじめとした他のA部会委員とも内容を共有し、A部会の意見として本会で提案ができるよう調整を行う。

3 「高齢者のこと110番プロジェクト」の提案

生活支援COが作成した資料を提示。それをもとに議論を行う。

議論を進める中で、大きく下記の2つの視点に分けて整理がなされた。

<人と人をつなぐ視点>

➤ 向こう三軒両隣の関係を地域で広めていくためには、住民の1人ひとりが地域の担い手であることについて“気づき”を得ることが重要。

➤ 原田さんが担当する社協包括圏域の第2層協議体では、地域資源マップ作成の議論を行っており、マップの中にサロンを含めた地域情報（楽しめる場所など）を入れる意見が印象に残った。困りごとを話し合うだけでなく、楽しさについて考えることも重要。楽しさなどで、人と人との関係性ができ、その上で困りごとの解決につながるのではないか。

➤ 支え合うきよせ委員会は、地域の中で自助や互助の関係づくりを進めていくことが役割となっている。そういう意味では、高齢者110番チームで検討しているが、支え合うきよせ委員会全体の課題ともいえる。

<人（困りごと）と包括をつなぐ視点>

➤ 困りごとを抱えた人は、地域包括支援センターへの相談ができているのか。そうした人が、相談へとつながるような細かい網を地域に広げる必要があるという思いから、高齢者110番の取り組みを提案した。

➤ 高齢者の総合相談窓口として、地域包括支援センターの名称が住民に浸透するよう「高齢者のこと110番」のキャッチフレーズを活用することはチーム内で確認済。「高齢者のこと110番」を包括が活用することで、人と包括をつなぐ機能が「高齢者のこと110番」というイメージになるおそれあり。住民の混乱を避けるため、人と人をつなぐ取り組みは別の名称でもいいのか

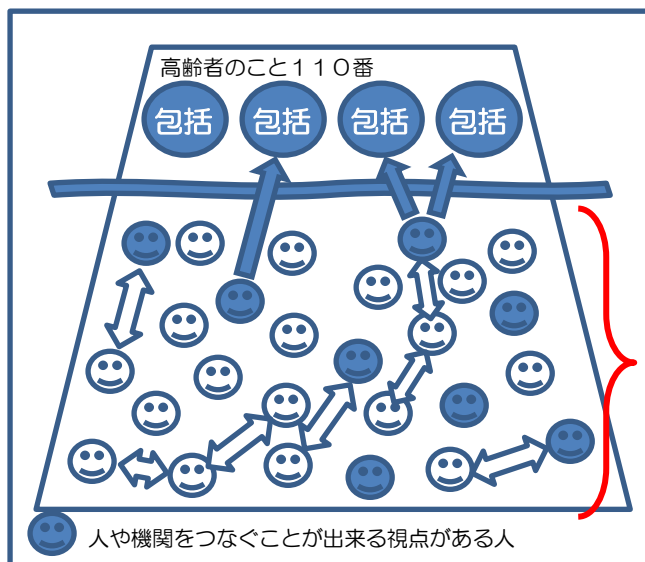
ないか。

- 地域で人と人をつないでいるキーパーソンが困りごとについて相談を受けた際、地域包括支援センターにつなぐこともあれば、住民同士で完結する内容もあると想定される。こうしたキーパーソンは地域にとって必要な人材であり、増えていくことが理想だが、看板（ステッカー）などを設置して役割を強いることは難しい。

また、上記の検討を踏まえて、下記のように確認した。



- 協議体の役割は、特に互助に関わり、高齢者の支え合いの仕組みづくりを進めること。但し関わりの中で、自助の働きかけや、共助や公助との連携も行う。
- 当プロジェクトチームの検討の中心は互助に関わることである。
- 地域包括支援センターは共助と公助に位置する機関であるが、その機能として、自助や互助が進むように高齢者や家族、地域に働きかける役割を持っている。



- 高齢者が地域で暮らし続け際に、困ったときにどこに相談すればよいかわからない・知らないことがある。これを解決するのが、図の下部の市民から包括支援センターへの相談の流れ。これを促すための提案が「高齢者のこと110番というキャッチコピー」。
- 一方互助の機能として期待されるのは、①市民が包括支援センターに相談する視点を持つことや、②市民の間でちょっとしたことが解決できること。特に②が、私たちが協議体で進めようとしていること。

⇒「高齢者のこと110番」は、印象に残るネーミングであり、地域包括支援センターを思い出してもらうためには適切。一方、向こう三軒両隣の関係を目指した人と人をつなぐ取り組みに冠するには別の名称の方がわかりやすい。

⇒自助や互助の関係づくりは、支え合うきよせ委員会全体の課題ともいえる。取り組みの名称などはチーム内外の方の意見を反映する。

⇒資料修正後は、メールやファックスにてチーム内で共有する。その後、内田部会長をはじめとした他のA部会委員とも内容を共有し、A部会の意見として本会で提案ができるよう調整を行う。

4 今後の予定

(1) 次回検討チーム開催日程

- 月 日 () 時 分 ~ 時 分

(2) 本会・部会

- 2月18日(火) 13時30分~15時30分 @健康センター第1・2会議室